

高等学校理科 物理基礎改訂版 (物基 315)

令和 2 年度用教科書では以下について修正いたします。ご指導に際しましては、ご配慮いただきますようお願い申し上げます。

(株)新興出版社啓林館編集部

◆日本の最高気温更新に伴う記述の修正◆

訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
ページ	行			
111	図 2	日本の最高気温の記録 高知県 四万十市 41℃	日本の最高 (41℃) 気温の記録 (埼玉県熊谷市)	更新が適切な事実の記載 (日本の最高気温更新のため)

◆国際単位系 (SI) の定義改定に伴う記述の更新◆

ページ	行	令和 2 年度用						
4	下	<table border="1"> <tr> <td>電気素量</td> <td>$1.60 \times 10^{-19} \text{ C}$</td> <td>$1.602176634 \times 10^{-19} \text{ C}$</td> </tr> <tr> <td>電子の質量</td> <td>$9.11 \times 10^{-31} \text{ kg}$</td> <td>$9.1093837015 \times 10^{-31} \text{ kg}$</td> </tr> </table>	電気素量	$1.60 \times 10^{-19} \text{ C}$	$1.602176634 \times 10^{-19} \text{ C}$	電子の質量	$9.11 \times 10^{-31} \text{ kg}$	$9.1093837015 \times 10^{-31} \text{ kg}$
電気素量	$1.60 \times 10^{-19} \text{ C}$	$1.602176634 \times 10^{-19} \text{ C}$						
電子の質量	$9.11 \times 10^{-31} \text{ kg}$	$9.1093837015 \times 10^{-31} \text{ kg}$						
56	19-21	<p>であり、場所によって変化しない。質量の単位である 1 kg は、国際度量衡局にある国際キログラム原器の質量と定められていたが、2019 年 5 月からは、<small>→図 20</small> プランク定数とよばれる普遍的な定数に基づく定義へと変更された。</p>						
111	10-12 28-29	<p>セ氏温度：1 気圧のもとでの水の融点を 0°C、水の沸点を 100°C として定められた温度目盛り <input type="checkbox"/></p> <p>絶対温度：-273°C を 0 K (絶対零度) とし、目盛りの間隔をセ氏温度と等しくとった温度目盛り <input type="checkbox"/></p> <p>① 現在では、絶対温度ケルビン (記号 K) は、ボルツマン定数とよばれる普遍的な定数に基づいて定義されている。</p>						
176	4-5 29-30	<p>は、電子の電気量の大きさ (電気素量) の $1.602176634 \times 10^{-19}$ 分の 1 と定義されている^②。また、電気量の正負は +, - の符号で表される。</p> <p>② 従来は、電流の磁気作用から電流の単位アンペア (記号 A) が定義され、それをもとにクーロン (記号 C) が定義されていた。</p>						